



ゆい しっかり者。頼りない兄のフォロー役(?)



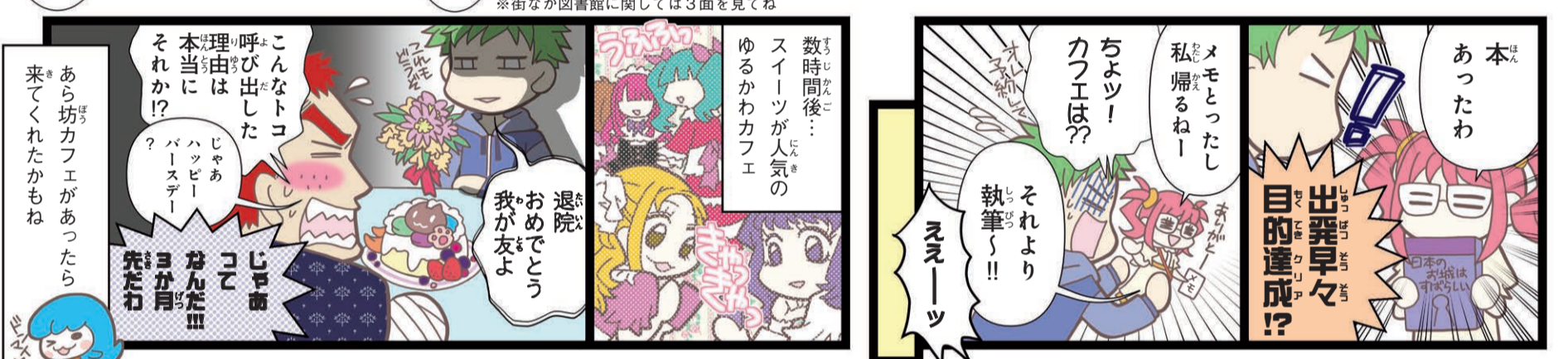
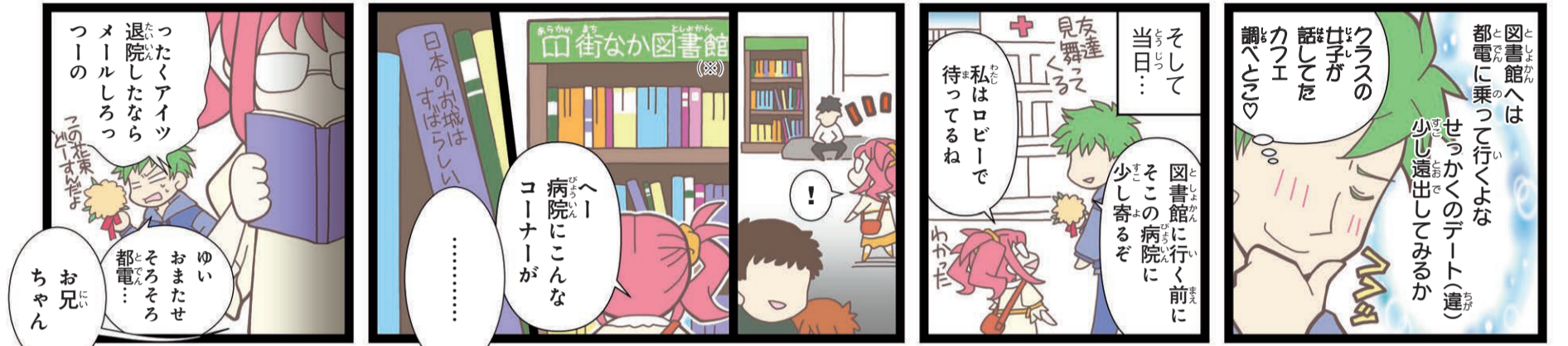
ほくと 妹思いなゆいの兄。熱血漢でスポーツ万能



裏のおじいちゃん ゆいと仲良しの裏に住んでいるおじいちゃん

作・ガズキ伊緒

# あらかわ少女☆ゆいちゃん



### 小6~中3の女子の方へ!

#### 今からは始める子宮頸がん予防 (HPV(ヒトパピローマウイルス)ワクチン)

HPVワクチンは、子宮頸がん等の原因となるHPVの感染を防ぐワクチンです。このワクチンの接種で、子宮頸がん等の原因の80~90%を防ぐことができます(シルガード®9の場合)。

小学6年生から高校1年生相当の女子の方は、無料で接種できます。

**Q どうして今から予防するの?**

**A** 子宮頸がんは、若い世代の女性がかかりやすいがんだからです。20歳代から患者さんが増え始めます。日本では毎年、約1.1万人の女性がかかり、約2,900人が亡くなっています。

**Q 接種を受けるにはどうしたらいいの?**

**A** 東京23区内の協力医療機関で、無料で接種できます。対象となる方には、中学1年生になる前の3月下旬に予診票を送付しています。接種を受けるときは予診票が必要です。予診票が無い場合は、荒川区ホームページから申し込みできます。

保護者の方と相談してね。

※HPVワクチンの接種は強制ではありません。

問合せ 健康推進課 ☎内線433

## あらかわ 今昔ものがたり

### 神田からお神輿が舟に乗った!?

~おすわさまのお祭り今昔ものがたり~

その146

夏休みの終わりに、コロナ禍でお休みだった諏方神社(西日暮里三丁目)の御神幸祭が6年ぶりに行われた。今回は諏方神社のお祭りの歴史にまつわるお話だよ。

**お神輿のルート** 諏方神社は「おすわさま」と呼ばれている日暮里と谷中の総鎮守。江戸時代でいえば、新堀村・谷中本村(現荒川区)と、谷中町(現台東区)の鎮守様だ。3年に一度の御神幸祭には、お神輿の渡御といって、神社のお神輿が長い行列を作って、諏訪台から日暮里の町々、そして谷中地区を回るんだ。調べてみると、お祭りの方法やルートは、時代によって変化

▲荒川ふるさと文化館蔵「長祿江戸図」

**江戸時代のお祭り** 諏方神社は、旧暦の7月27日が祭礼日。江戸の年中行事の本「東都歳事記」にも紹介されているお祭りだ。前日の宵宮は、「廿六夜待ち」という行事と重なっていて、

参詣客でにぎわった。27日の祭礼日には、お神輿が氏子の村や町を巡行し、一年おきに山車などの行列が出たそうだよ。

**もっと昔のお祭り** 諏方神社の古い縁起には、「鎌倉時代、職人や商人が軒を連ねて街をなし、商いの舟や漁民の舟が行き来してにぎわった」と書かれている。もう一つの縁起には、その頃のお祭りは「お神輿を担いで神田昌平橋(現千代田区)の辺りまで行き、そこから舟で隅田川を遡り荒木田(現町屋八丁目付近)でお神酒を供えて神社に戻った」と書かれている。どうも昔の日暮里は、左の古い地図のように川に囲まれていたらしいんだ。お祭りの歴史から昔の日暮里の地形が推測できるなんて驚きだね。

**舟に乗ったお稚児さん** 今のお祭りの行列では、お稚児さんが舟に乗っている。坂道を歩くのが大変だからという。もしかすると、舟に乗せるという発想は、昔々お神輿が舟で渡御していたことに関係するのかもしれないね。

お祭りは、時代によってさまざまな工夫がされている。今度、みんなの地域のお祭りも調べてみてね。

▲お稚児さんが乗る舟